1 ミノカサゴ

概要

ミノカサゴ（蓑笠子、英名：Luna lionfish（ルナ・ライオンフィッシュ）、学名：Pterois lunulata）は、スズキ目フサカサゴ科の海水魚。

和名の蓑笠子は、ミノカサゴの鰭を蓑や菅笠になぞらえたもの。また、刺された際の痛みの強さからさまざまな地方名を持ち、広島県では「ナヌカバシリ（七日走り）」（「痛みに耐えかねて7日間走り回る」の意）、三重県では「マテシバシ」（「うっかり触らないようにしばらく待て」の意）、山口県では「キヨモリ」（「平清盛のように、派手な衣装の下に武器を隠している」の意）などと呼ばれる。

形態

体長は25cm～30cmほど。背鰭を中心に毒を持つ。腹鰭の間にツルギがある。

日本近海にはよく似た近縁種としてハナミノカサゴがあるが、こちらは赤褐色で、下アゴの裏にも模様があり、尾鰭に黒い斑紋を持つ

魚類図鑑